

夏季講習を終えて

中3クラス生にとっては熱い熱い夏が終わりました。1日4時間の授業を23日間やり逃げたのです。4時間の内、休憩は途中10分間のみ。あとはひたすら説明を聞き、質問に応え、ワークの問題を解きます。授業に参加するだけでも4時間という長時間はきついのですが、さらに当塾の夏季講習には毎回確認テストというものがあります。これは、前日の授業内容に対する理解度・記憶度の確認テストで、單元ごとに作ってあるものです。例えば理科でしたら、中1、中2、中3単元で「植物」「動物」「生物と細胞」「人体」「気体・水溶液」「状態変化」「化学変化」「酸化・還元」「物質の質量」「火山・地震」「岩石・地層」「光・音・力」「水蒸気・圧力」「天気と前線」「加速運動」「等速運動」「合力・分力」「水圧・浮力」「仕事」「エネルギー」「エネルギー資源」「進化」の以上22枚。單元数で言えば30近くあります。社会も同じく22枚、国語は21枚、数学は17枚、英語は11枚ですので、合計93枚です。毎日5教科か4教科のテストを23日間受け続けなければなりません。そして、恐ろしいことにこのテスト結果(各自の点数)は全て廊下に名前付きで書かれて張り出されます。しかも各教科テストにはそれぞれ合格点が設定してあり、その点数に達していない場合は赤字で点数が書かれるのです。ちなみに英語は98点、国語は95点、社会と数学は90点、理科は80点が合格点です。これがどれだけ塾生にプレッシャーを与えるか、計り知れません。しんどくても毎日勉強していかないと、みっともない点数を取ってみんなに知られてしまう可能性があるからです。同学年の友達だけではなく、部活の後輩や近所の下級生にもです。ただ、救いは、この確認テストは前日に授業でやったワークの問題をきちんと理解しながら解き、語句や資料を正確に覚えておけば必ず合格点がとれるということです。思考力を試すような問題にはしておりません。

夏が終わり、塾の廊下の一角には長い長いテスト結果一覧表が、点数が全て書き込まれた状態で張り出されています。黒字ばかりの子もいれば、赤字が所々に見られる子もいます。まさに努力の結果の一覧表です。ただ、これはこの夏の努力結果だけとは言えません。中1、中2の時に真面目に理科、社会を勉強してきた子は、この復習となった時も少しの努力で容易に思い出すことができますが、やってこなかった子は一から覚え直す必要があります、莫大な時間を使いながらも覚えきれなかったこともあったからです。まさに中1からの努力結果だと言えます。

中1、中2の諸君、今からしっかりやっておかないと中3になって大変です。受験は全単元から出ますよ。中3の諸君、実は例年以上に平均点が高かったです。本当によく頑張りました！